

# 支障がない状態の確認について 【注意喚起】 停電波及事故



Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

中部地方整備局営繕部  
静岡営繕事務所

1

## パンフレットの内容



### 支障がない状態の確認

国家機関の建築物及びその附帯施設の保全に関する基準



Maintenance and Management of Government Buildings



国土交通省大臣官庁官庁営繕部  
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism  
Government Buildings Department


- ◆ 支障がない状態の確認とは
- ◆ 庁舎の部位・劣化状況写真
- ◆ 確認用チェックリスト

国交省HPに様式掲載(Excel形式)

2

## 官公法 第十三条

国家機関の建築物及びその付帯施設の位置、規模及び構造  
並びに**保全について基準**を定める



## 国土交通省告示 第551号

国家機関の建築物及びその付帯施設の  
**保全に関する基準**



**支障がない状態に保全されているものとする**

通称:13条確認

3

## 支障がない状態の確認とは

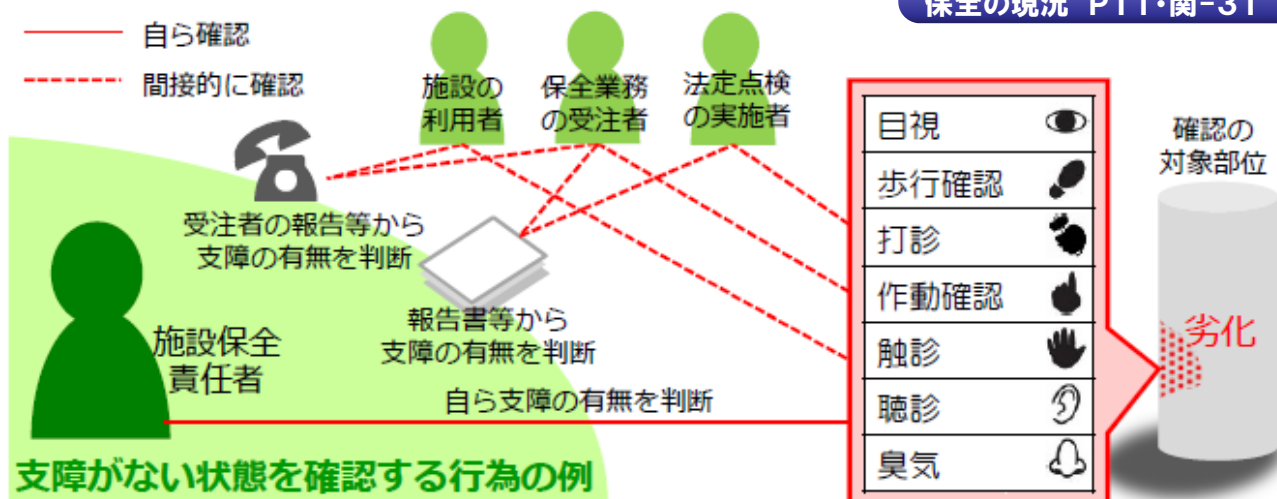
### 施設保全責任者が確認する行為

- 【対象施設】 すべての国家機関の建築物と  
その付帯施設(仮設建築物を除く)
- 【資格要件】 確認する行為であるため不要
- 【確認周期】 建築物の敷地及び構造:概ね1年  
建築設備:概ね6ヶ月~1年

#### 施設保全責任者

支障があると判断  支障がない状態に保全する

4



◇12条点検を外部委託している場合

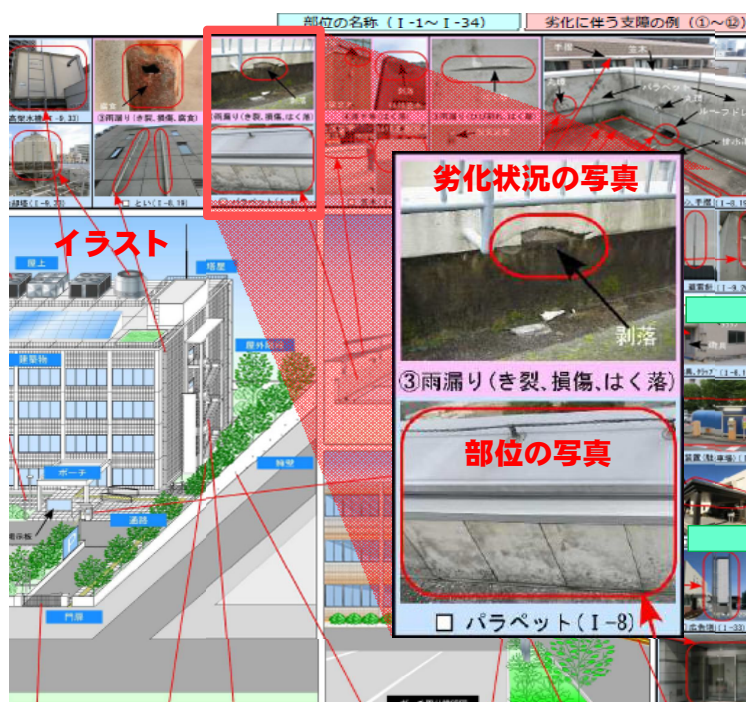
点検結果を確認 = 支障がない状態の確認

◇職員・来庁者など建築物利用者の意見も参考に！

5

## 一般的な事務庁舎のイラスト・写真

パンフレットを用いて「支障がない状態の確認」が可能



一般的な事務庁舎における  
部位と建築設備の場所を、  
外部及び内部・設備のイラスト

代表的な  
劣化に伴う支障の例

確認の対象となる  
部位の名称

6

# 確認用チェックリスト

保全の現況 関-23・31

チェック欄: 確認済み「レ」、存在しない部位「×」

部位の名称	支障	備考	写真等
基礎	①②		I-2
基礎(土留、土留、土留、土留等)	②		I-3
基礎(土留、土留、土留、土留等)	①②		I-4
基礎(土留、土留、土留、土留等)	①②		I-5
基礎(土留、土留、土留、土留等)	①②		I-6
基礎(土留、土留、土留、土留等)	①②		I-7
屋上、外装、内装、シーリング等	③		I-19
ルーフ、ドレーン、とい	③		I-19
屋根仕上、内外装、内外壁、ハーフ、笠木等	④		I-8
高架水槽、冷却塔、手摺、煙突等	④		
防護柵、手摺、広告板等	④		
共通	③④⑤⑥⑦		I-21
防火扉、シャッター、ダンパー等	①②③④⑤		I-18
自動扉、連動式の防火扉等	①②③④⑤		I-22
共通	③④⑤		I-10
壁面の床	③④		I-11
床仕上(カーペット、タイル等)	③④		I-12
二重床(コンクリート等)	③④		I-13
階段の張り止め	⑦		I-14
鉄骨、鉄骨	③		I-15
床点検口	③		I-16
防護柵、手摺等	⑦		I-23
防火区画となる壁、天井	③④		I-17
居室の壁、天井、特定天井	①②		I-20
共通	⑦⑧		I-25
設備機器	③④⑤		I-26
配線、配管、ダクト	③④⑤		I-27
昇降機(エレベーター、エスカレーター等)	③④⑤⑥⑦		I-28
換気設備	③④⑤⑥		I-29
換気設備	③④⑤⑥		I-30
非常用照明	③④⑤⑥		I-31
給排水設備	③④⑤⑥		I-32
屋内及び屋外の案内表示	⑧		I-24
煙突、高架水槽、煙突等の工作物	①②		I-33
敷地及び地盤面	⑦⑧		I-1
敷地	⑦⑧		I-34

備考欄: 支障あり→場所や状況

赤字で示す部位名称・支障  
12条点検結果で判断可能

国土交通省官庁営繕部  
ホームページより  
ダウンロード可能  
(Excel形式)

官庁施設の保全

検索

7

## 【劣化に伴う支障】の写真番号

保全の現況 P2・52

落下の恐れがある部材	屋根仕上、内外装、内外壁、ハーフ、笠木等	④	I-8
	高架水槽、冷却塔、手摺、煙突等	④	I-9
	防護柵、手摺、広告板等	④	I-23

「支障」欄の番号: ④ = 【劣化に伴う支障】の写真番号



④落下等(はく落)



④落下等(剥がれ、はく落)

8

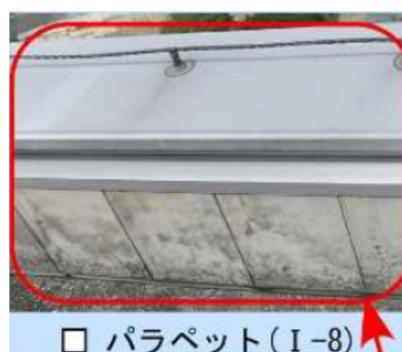


# 【部位の名称】の写真番号

## 保全の現況 関-24

<input type="checkbox"/>	落下の恐れがある部材	屋根仕上、内外装、内外壁、パラペット、笠木等	④		I-8
<input type="checkbox"/>		高架水槽、冷却塔、手摺、煙突等	④		I-9
<input type="checkbox"/>		防護柵、手摺、広告板等	④		I-23

「写真等」欄の番号：I-8  
＝保全の基準 別表第一(い)欄 部位の並び順

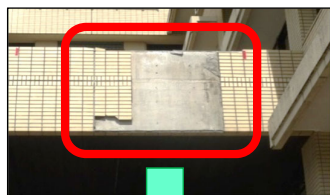


9

# 各部個別の劣化判定

判定	状 況			
支障なし	劣化がない、 または経年変化はあるが建築物利用上の支障がない			
経過観察	外壁亀裂・白華 	屋上防水の劣化 	天井漏水跡 	設備機器の劣化 
要相談	外壁鉄筋爆裂 	ルーフトレン詰まり 	設備機器の劣化 	アンテナ変形 

10

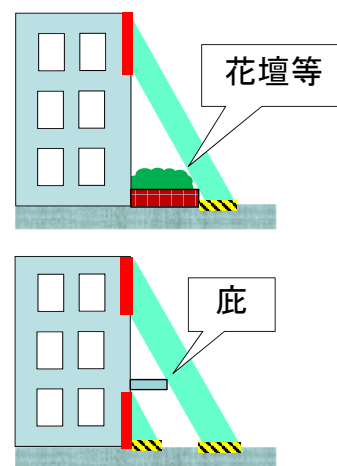
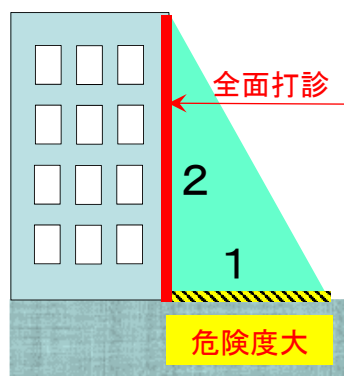


「支障がない状態の確認」の実施



外壁全面打診(概ね10年に1度)※1

全面打診が必要な範囲※2



※1 平成20年国土交通省告示第282号

※2 平成20年4月1日国土交通省住宅局 建築基準法施行規則の一部改正等の施行について(技術的助言)

11

## 留意事項

保全の現況 関-32

- 1日で完了させる必要なし
- 安全確保最優先
- 確認困難な部位は省略可能  
(出入りが困難、危険を伴う場所など)

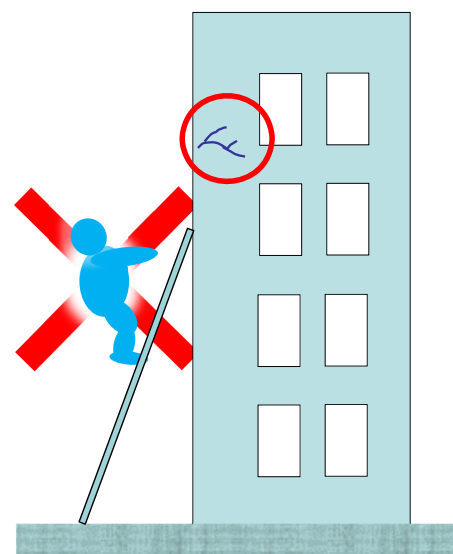
省略した場合

支障

状態記録

依頼

専門知識を有する者



## 【注意喚起】 停電波及事故

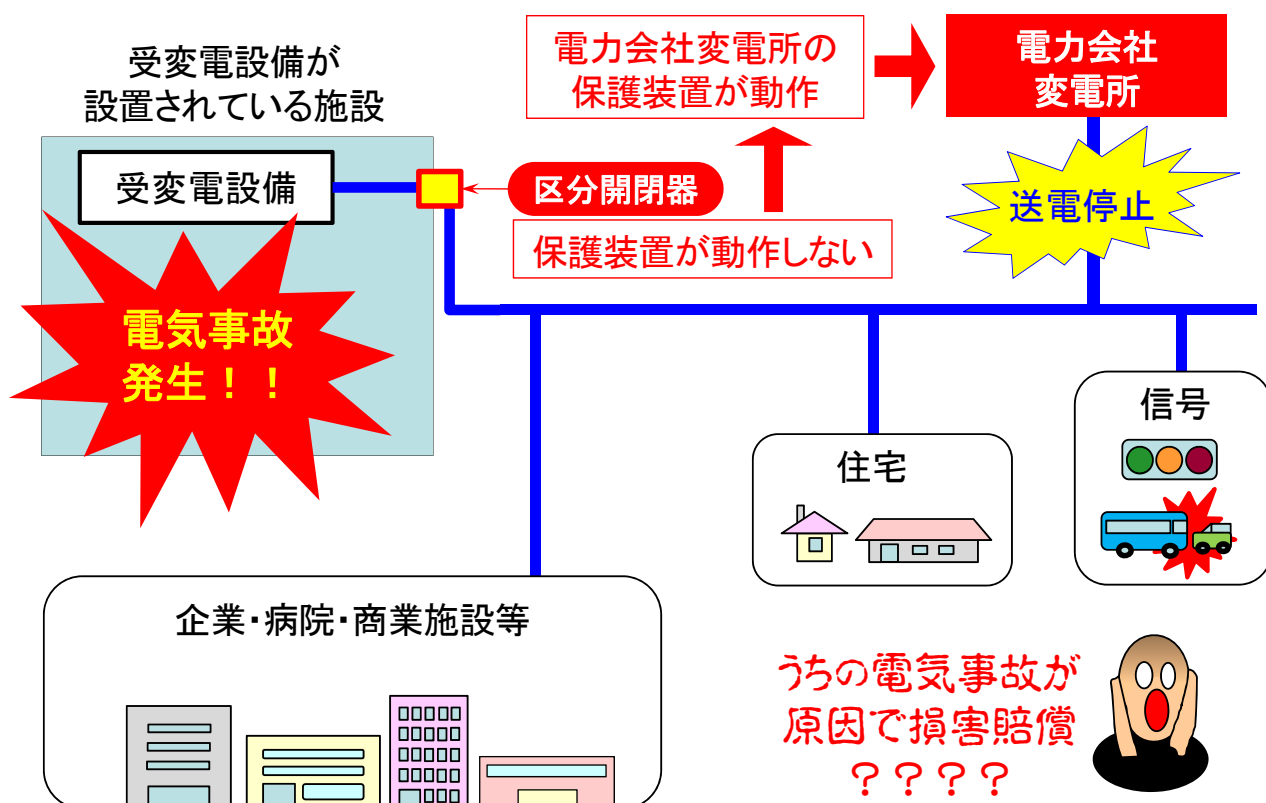


Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

中部地方整備局営繕部  
静岡営繕事務所

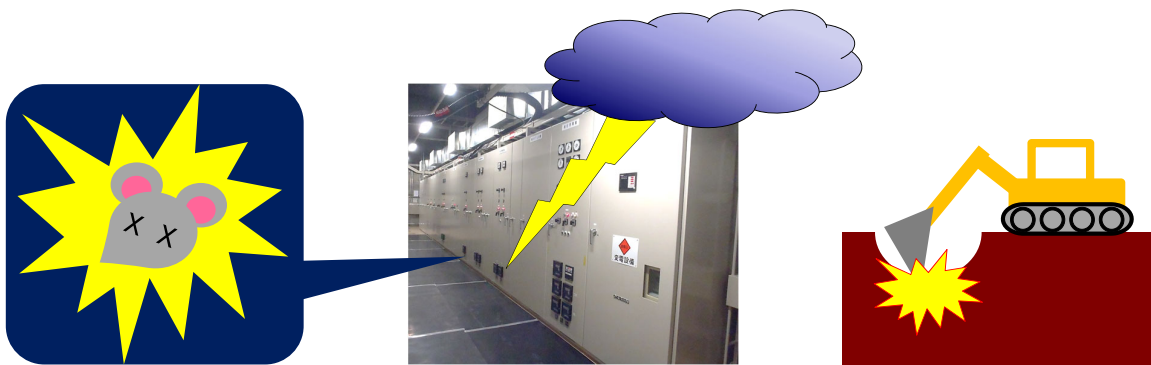
13

### 停電波及事故とは



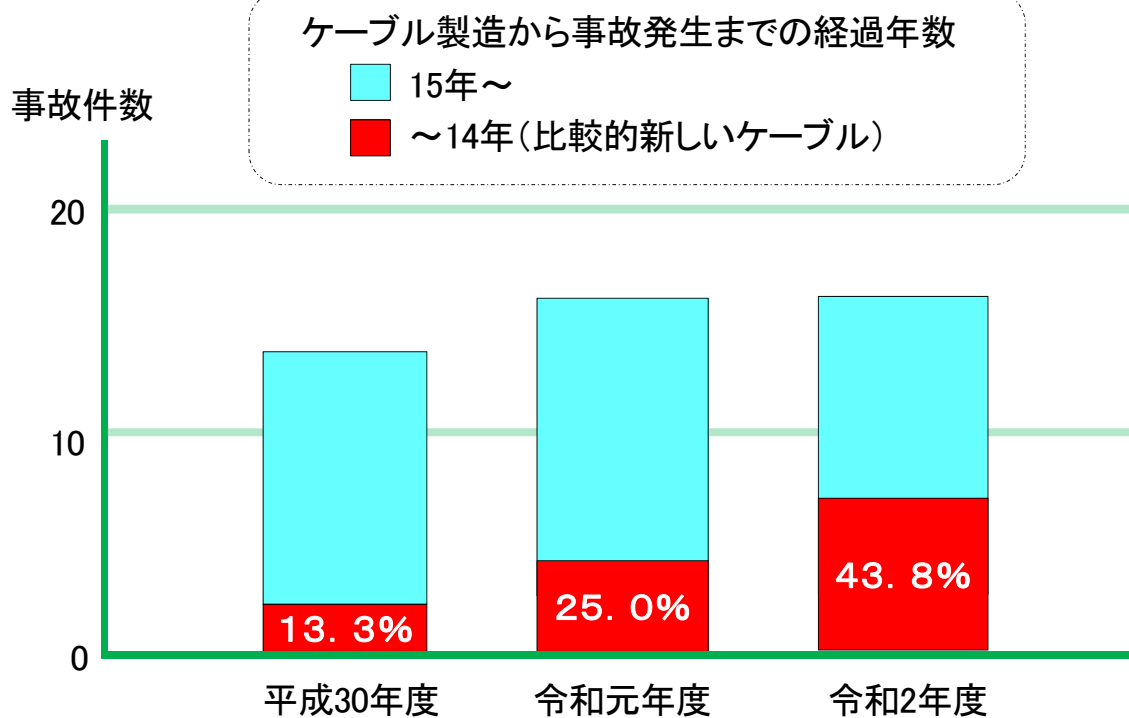
14

- ・経年劣化（高圧ケーブル、遮断器類）
- ・小動物（ねずみ、へび等侵入）
- ・自然災害（落雷、風雨等）
- ・人為的損壊（改修工事による掘削等）



15

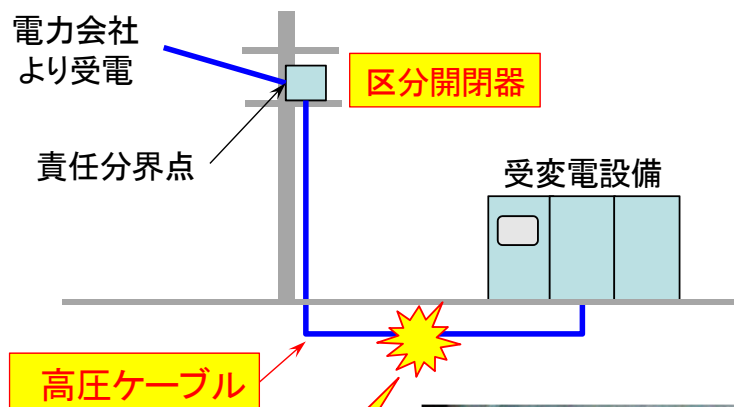
## 高圧ケーブル波及事故発生状況



16



# 高圧ケーブルの事故事例



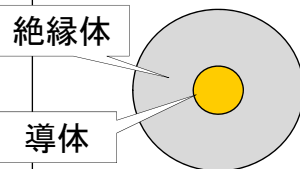
事故点  
(地中埋設)



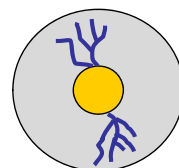
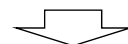
事故となったケーブル  
(中央は短絡痕)

## 【原因:水トリリー現象】

水と電界が影響して  
亀裂が発生する現象

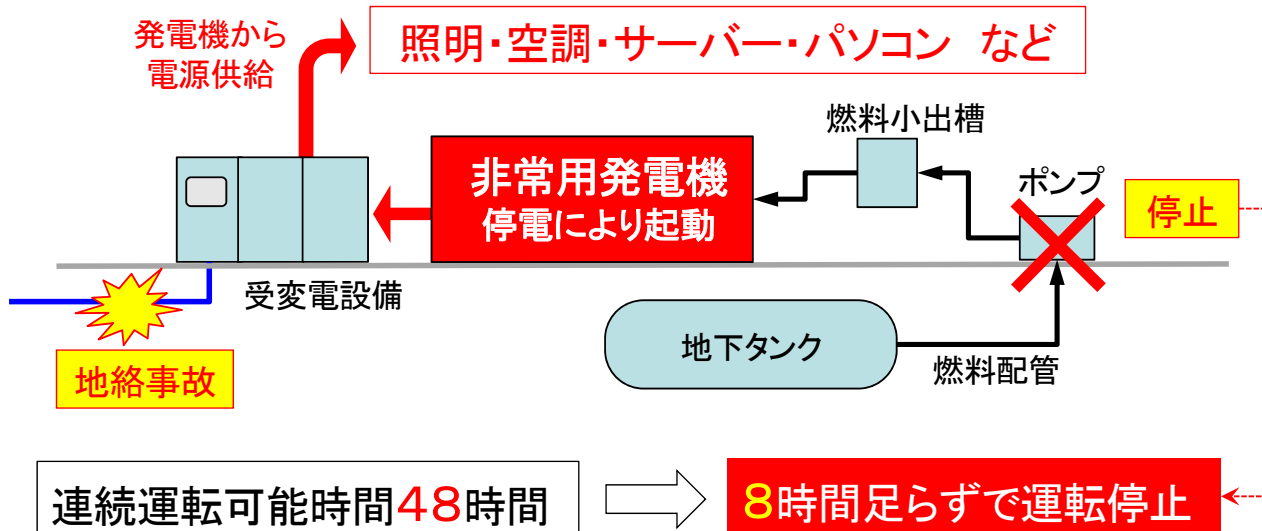


正常なケーブル断面



劣化したケーブル  
(水トリリーによる劣化)

# 停電後の自家発不具合事例



【重要】多発する自然災害などへの備え

非常用発電装置・ポータブル発電機・非常用装備品等の点検・整備

- ・定期点検(ケーブル絶縁測定、機器類等)
- ・計画的な更新(推奨時期15年)

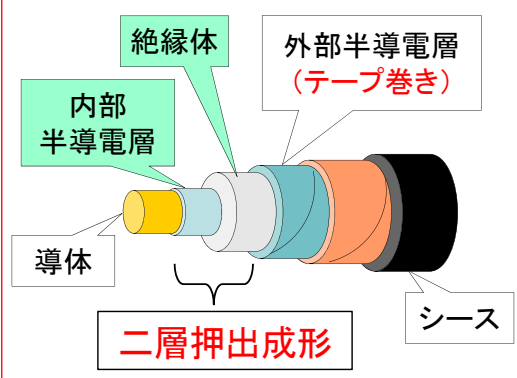
絶縁抵抗低下など  
劣化の兆候



推奨時期を  
待たずに更新

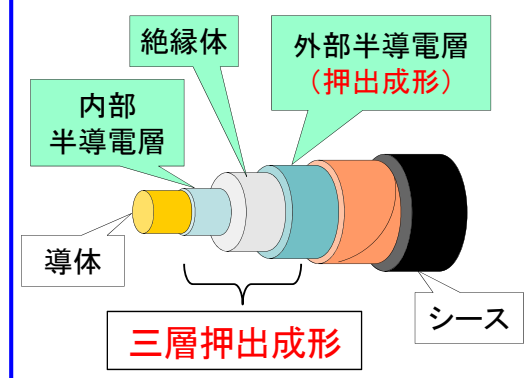


従来品(E-Tタイプ)



コスト  
約1.1倍

対策品(E-Eタイプ)

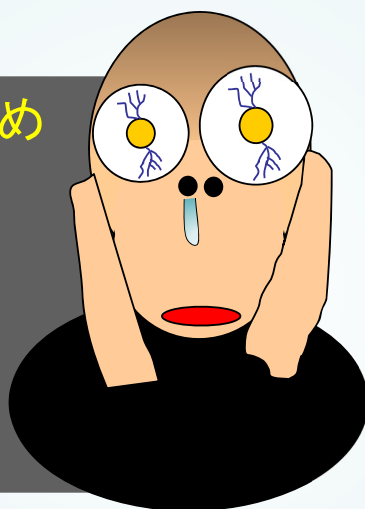


19

うちが原因の電気事故？

損害賠償？

エレベーター閉じ込め  
交差点で交通事故  
手術ができない  
ATM使用不可  
工場等操業停止



ケーブル劣化？

対策品じゃ  
なかった？

水トリー現象？

「ツリー」がなぜ  
「トリー」なの？

高圧ケーブルは対策品 → 後悔なし